第2回 大和政権から律令国家の成立へ

§1 大和政権

3世紀の後半、近畿地方の大和(奈良県)を中心とする強力な国が誕生した。その国は西日本に勢力を広げし、5世紀ごろには九州北部から中部地方まで支配するようになった。その政治権力を大和政権(大和朝廷)と呼ぶ。大和政権は、「大王」と呼ばれる王を中心として、有力な豪族たちによって作られた。

有力な各地の王や豪族たちは、土を高く盛りあげて作った大きな墓に葬られた。そのような墓を古墳という。4世紀~7世紀ごろまでは各地に古墳が作られ、この時代を古墳時代と呼ぶ。大きな古墳を作るためには多くの人を使う必要があり、この時代に大きな権力をもつ支配者が誕生したことを示している。

また、大和政権は大陸の文化を積極的に求めた。大陸や朝鮮半島から来た「渡来人」と呼ばれる人々によって、農業技術や機織りの技術、儒教や仏教などが伝えられた。

§2 律令国家の成立

古墳時代の終わり頃、中国では強力な統一国家が誕生した。隋、唐という国家である。その頃の日本では有力な豪族同士の争いが続いていたが、中国の影響を受けて、中央集権の国づくりをめざした。593年に女帝の推古天皇が即位し、おいの聖徳太子(厩戸皇子)が摂政となった。聖徳太子は天皇を中心とした中央集権の政治体制を整えるために、冠位十二階の制度や十七条の憲法を定めた。また、中国に使節を送り、大陸の政治や文化を積極的に学んだ。

聖徳太子の死後、有力豪族の蘇我氏が独裁的な政治をおこなった。645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏を倒し(大化の改新・乙巳の変)、天皇による中央集権的な政治をめざした。中大兄皇子はその後即位して天智天皇となった。

天智天皇の死後、後継者をめぐって壬申の乱が起きた。勝った大海人皇子が即位して天武天皇となった。701年には大宝律令が制定された。中国を手本にし、律令に基づいて政治をおこなう天皇中心の中央集権国家を律令国家という。

第2回 やまとせいけんからりつりょうこっか、せいりつ 大和政権から律令国家の成立へ

§1 やまとせいけん 大和政権

3世紀の後半、近畿地方の大和(奈良県)を中心とする強力な国が誕生した。その国は西日本に勢力を広げ、5世紀ごろには九州北部から中部地方まで支配するようになった。その政治権力を大和政権(大和朝廷)と呼ぶ。大和政権は、「大王」と呼ばれる王を中心として、有力な豪族たちによって作られた。

有力な各地の王や豪族たちは、土を高く盛りあげて作った大きな墓に葬られた。そのような墓を古墳という。4世紀~7世紀ごろまでは各地に古墳が作られ、この時代を古墳時代と呼ぶ。大きな古墳を作るためには多くの人を使う必要があり、この時代に大きな権力をもつ支配者が誕生したことを示している。

また、大和政権は大陸の文化を積極的に求めた。大陸や朝鮮半島から来た「渡来人」と呼ばれる人々によって、農業技術や機織りの技術、儒教や仏教などが伝えられた。

§2 りつりょうこっか、せいりつ 律令国家の成立

古墳時代の終わり頃、中国では強力な統一国家が誕生した。隋、唐という国家である。その頃の日本では有力な豪族同士の争いが続いていたが、中国の影響を受けて、中央集権の国づくりをめざした。593年に女帝の推古天皇が即位し、おひの聖徳太子(厩戸皇子)が摂政となった。聖徳太子は天皇を中心とした中央集権の政治体制を整えるために、冠位十二階の制度や十七条の憲法を定めた。また、中国に使節を送り、大陸の政治や文化を積極的に学んだ。

聖徳太子の死後、有力豪族の蘇我氏が独裁的な政治をおこなった。645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏を倒し(大化の改新・乙巳の変)、天皇による中央集権的な政治をめざした。中大兄皇子はその後、即位して天智天皇となった。

天智天皇の死後、後継者をめぐって壬申の乱が起きた。勝った大海人皇子が即位して天武天皇となった。701年には大宝律令が制定された。中国を手本にし、律令に基づいて政治をおこなう天皇中心の中央集権国家を律令国家という。

Part2 : From the Yamato Regime to the Establishment of the Ritsuryo State

§1 Yamato regime

In the second half of the 3rd century, a powerful state emerged centred on Yamato (Nara Prefecture) in the Kinki region. This state extended its power to western Japan, and by the 5th century it ruled from northern Kyushu to the central part of the country.

This political power is called the **Yamato regime (大和政権/大和朝廷"Yamato Seiken/Yamato Chotei" Yamato Imperial Court)**. The Yamato regime was formed around a king and a group of powerful powerful clans, who came to be known as 'great kings'.

Powerful kings and powerful clans in various regions were buried in large tombs made of raised earth. Such tombs are called burial mounds, and from the 4th to 7th century, **burial mounds (古墳"Kofun")** were built all over the country, and this period is known as the Kofun period. To build large kofun tombs, it was necessary to use a large number of people, indicating the emergence of rulers with great power during this period.

The Yamato regime also actively sought out continental cultures. Agricultural technology, weaving techniques, Confucianism and Buddhism were introduced by people from the continent and the Korean peninsula, who were known as 'migratory people'.

§2 Establishment of the Ritsuryo State

Towards the end of the Kofun period, powerful unified states emerged in China. These were the Sui and Tang Dynasties. In 593, the female emperor Suiko ascended to the throne and her son **Prince Shotoku (聖徳太子/厩戸皇子"Shotoku Taishi. Umayado no Oji" Prince Umayado)** became regent. In order to establish a centralised political system centred on the emperor, Prince Shotoku established the system of **the Twelve Crown Ranks(冠位十二階"Kan'i Jyunikai")** and **the Seventeen-Article Constitution(十七条の憲法"Jyunanajyo no Kenpo")**. He also sent envoys to China to actively learn about continental politics and culture.

After the death of Prince Shotoku, the Soga clan, a powerful clan, established a dictatorial government, and in 645, Price Nakanooe, Nakatomi Kamatari and others overthrew the Soga clan **(大化の改新"Taika-no-kaishin", 乙巳の変 Isshi-Incident)** and aimed to establish a centralised government by the emperor. Emperor Nakanooe then acceded to the throne and became Emperor Tenchi.

After Emperor Tenchi's death, **the Jinshin Rebellion(壬申の乱"Jinshin no Ran")** broke

out over his successor. The victorious Emperor Oama acceded to the throne and became Emperor Temmu. 701 saw the enactment of the Taiho Ritsuryo Code(大宝律令). The Ritsuryo State is an emperor-centred, centralised state that was modelled on China and governed according to the Ritsuryo Laws.

从大和政权到律令国家的建立

1. 大和政权

公元3世纪下半叶，以近畿地区的大和（奈良县）为中心，出现了一个强大的国家。这个国家的势力延伸至西日本，到5世纪时，它的统治范围涵盖了从九州北部到中部地区的广大领土。这个政权被称为大和政权（大和政権）（大和朝廷）。大和政权以被称为“大王”的王为中心，并由其他强大的豪族共同组成。

各地强大的王和豪族们被埋葬在用土高高堆积而成的巨大坟墓中。这样的墓葬被称为古坟（古墳）。从公元4世纪到7世纪左右，各地都相继采用这样的墓葬形式，这个时期即被称为古坟时代。而为了建造大型古坟，需要动用大量人力，这也表明在这个时代已然诞生了具有强大权力的统治者。

此外，大和政权还积极吸收来自大陆的文化。来自大陆或朝鲜半岛被称为“渡来人”的这一群体向日本传播了农业、纺织技术，以及儒教和佛教等文化。

2. 律令国家的建立

在古坟时代末期，中国诞生了一个强大的统一国家，即隋朝（公元581年）和唐朝（公元618年）。而这一时期的日本，强大豪族之间的争斗虽仍在持续，但受到中国的影响，也开始谋求中央集权国家的建立。公元593年，女天皇推古天皇即位，其侄子圣德太子（聖德太子）（也称厩户皇子）成为摄政。为了建立以天皇为中心的中央集权政治体制，圣德太子制定了冠位十二阶制度（冠位十二階）和十七条宪法（十七条の憲法）。此外，他还派遣使节前往中国，积极学习大陆的政治和文化。

圣德太子去世后，强大的豪族蘇我氏实行了专制统治。公元645年，中大兄皇子及中臣鎌足等人推翻了蘇我氏的统治（史称“大化改新”及“乙巳之变”），继续致力于以天皇为中心的中央集权政治体制。中大兄皇子随后即位为天智天皇。

天智天皇去世后，围绕继任者的确立爆发了壬申之乱。取得胜利的大海人皇子即位为天武天皇。遂于公元701年，颁布了大宝律令。以中国为蓝本，基于律令管理国家，并以天皇为中心的中央集权国家被称为律令国家。